

## 鳥羽市部活動検討委員会 会議録

会議の名称	第4回鳥羽市部活動検討委員会
開催日時	令和5年8月31日(木) 18:30~19:30
開催場所	鳥羽市民体育館 中会議室
内容	<p>■第4回鳥羽市部活動検討委員会</p> <p>1. 委員長あいさつ</p> <p>2. 「中学生世代の新たな地域クラブ活動準備・推進計画(たたき台)」の協議</p> <p style="margin-left: 2em;">(1) 基本方針について(計画P22)</p> <p style="margin-left: 2em;">(2) 地域クラブ活動へ大きな舵を切る時期について(計画P7)</p> <p style="margin-left: 2em;">(3) 調整主体・実施主体について(計画P23~26)</p> <p style="margin-left: 2em;">(4) 運営主体(とばスポーツクラブ)の担う役割等の整理について(計画P9、P23~26、P35)</p> <p>3. その他</p>
<p><b>【主な質疑応答・委員からの意見】</b></p> <p><u>(1) 基本方針について(計画P22) ⇒質疑、意見なし</u></p> <p><u>(2) 地域クラブ活動へ大きな舵を切る時期について(計画P7)</u></p> <p><b>(委員長)</b></p> <p>補足だが、令和8年度から本土側の中学校が鳥羽東中学校1校になると記載がある。これは、加茂中学校の鳥羽東中学校への統合であると思うが、令和6・7年度は学校選択制にするという案で動いている。加茂小6年生、加茂中1・2年生にアンケートしたところ、加茂小6年生(19名)のうち、加茂中へ行くという回答した児童は2名だけであった。残る17名のうち、1名は未定で、16名は鳥羽東を希望する意見であった。また、加茂中1・2年生は、そのまま加茂中に通うという回答だった。来年の中学校1年生もそうだが、再来年中学生になる現小学校5年生も少ない。これから加茂小のPTA会長等と意見交換しながら、統廃合の進め方を考えていく予定である。方針は6・7年度が学校選択制、令和8年度から学校統合という方針は変わっていないが、こういった現状も念頭においていただきながら話を進めていただければと思う。</p> <p><b>(委員)</b></p> <p>例えば3年生が引退してからとあるが、競技によって引退時期は様々であるので、(舵を切る時期を)令和8年度の3年生引退時とするのは困難であると思う。一方、令和8年4月からとした場合、子ども達が「一体何が変わるのか」を理解し、対応できればいいが、全てが変わってしまうという状況になってしまうという懸念がある。そこで(子供たちの)戸惑いが起こらなければいいが、例えば3年生については4月から7月・8月までの間、困らないようにするための猶予期間があってもいいと思う。また、学年によって考え方を考えるという手もあると思うし、全てが(令和8年)4月1日から変わらなければならないのか、そうでなくてもいいような気がする。</p> <p><b>(事務局)</b></p> <p>今国が出してきているのは、休日部活動の地域移行ですので、休日の指導者が変わります(試合は教員・教員以外の指導者どちらで行くのかは要検討)。子ども達が不安になる部分はその辺りだと思います。ただ、そこを学年別に仕分けるのは難しいと思います。</p> <p><b>(委員)</b></p> <p>そうであれば、「令和8年4月から顧問が変わっていく」ではなく、その前の段階から移行の流れを作っていないといけないと思う。例えば、正式には4月から顧問になるが、それ以前から指導するなど準備期間をとるなどである。4月1日からいきなりというのは余計に混乱すると思う。</p> <p><b>(事務局)</b></p> <p>例えば4月からの土日に、徐々に(部活動に)地域クラブの人達が入っていくということでもよいでしょうか？</p> <p><b>(委員)</b></p>	

(地域クラブに)切り替えるということは、地域クラブの方に全てお任せするということになる。そうではなくて、顧問と地域クラブの指導者が重複する時期がいつになるのかということが気になる。3年生にとって、最後の半年間というのは集大成になると思う。そこで体制の変更により、急に刺激を与えるのではなく、前の段階から刺激を与える方がスムーズに行くと思う。

(委員)

教員(顧問)の立場からすると、4月は相当バタバタする時期である中で、一番考えるのは3年生のことである。3月まで顧問の指導を受け、4月の休日から急に指導者が変わるとなると混乱を招くと思う。4月～7月は教員と地域指導者の移行期間とし、生徒の様子を含め引き渡せる時期になればと思った。この移行期間に、保護者・生徒に説明はできると思うので、時間的に余裕をもって移行できればいいと思う。

(委員長)

前の段階では、「地域移行はできる所からやっていく」という原則があったと思うが。

(事務局)

「体制が整った種目では先行して試行していく」という部分が「地域移行はできる所からやっていく」ということを踏まえた内容です。

(委員長)

受け皿がなく、地域移行ができない種目も出てくると思う。地域移行については3パターンあると考えられるが、その辺はどうか？(①先行して試行する ②令和8年度を目途に実施する ③地域移行できない)

(事務局)

たたき台P38(改革推進期間後の休日の学校部活動の取扱い)に記載していますが、令和9年度中に実施体制が整わない場合、移行ができないものとして令和10年度以降平日も含めた新規参加募集を行わないとしています。

(委員)

これは、そのクラブを無しにするということか？

(事務局)

かなり踏み込んだ記載をしていますが、それも1つの案としています。一方は指導者が整って地域移行が進んでいく、もう一方で、(移行が進まず)市がお金を出して部活動指導員という形でずっと続いていく。この2つが成り立つのかということについて整理をする必要があると考え、踏み込んだ書き方をしています。

(委員長)

部活動の受け皿ではないが、個別に指導するというケースもある。それも「体制が整わない」ということになるのか？

(事務局)

後述する「とばスポーツクラブ」に個別で参画してもらって指導していただくという体制は採れると思います。

(教育長)

部活動指導員のような位置づけ(協会はないが、個人で指導していただく方)は、今の体制では残しているという理解でよいか？

(事務局)

そうです。(報酬が)市がお金を出して賄っていくということから、参加費から賄っていただくという部分は変わるが、継続して指導はしていただけるという形です。

(委員)

それは総合型からの派遣という形になるのか？

(事務局)

はい、そうです。

(委員長)

教員の兼職兼業のパターンはどうか？

(事務局)

スポーツクラブ側に入ってもらう形になります。

(委員)

移行時期の件だが、兼業の場合、土・日教員が出てもらうのはよいが、完全移行を令和8年4月とした時に、教育委員会や学校の方針で、教員は土・日は出さないとした場合、準備期間として令和8年4月以前から準備していく必要がある。しかし、教員が土・日出ることができるのであれば令和8年4月からの移行も考えられると思う。また、競技によっては移行期間の長短が出てくると思う。どの時期に何を行わないといけないかを踏まえ、1年程度は引継ぎが必要と考える。

**(事務局)**

教員が休日に学校部活動に出てはいけないということは国も言っていないし、鳥羽市もそのような方針はありません。

**(委員)**

基本的には競技ごとに考えていく方がいいと思う。土・日に指導してもらえない競技について、体育協会で既存の部活動を全て洗い出し、競技団体等に問い合わせをして確認していく、リストアップ化していく方が早い。

**(委員)**

移行期間も含め、競技ごとによって変わってくると思う。方針と移行時期からのアプローチだと、なかなか難しくなると感じる。競技の種目ごとに移行を進めていく方法もよいのではないかと。ただ、国の方針が決まっていないことが原因である。県と話をしていても、国から明確な指示がないので、内容が漠然としている。国の方針次第では、状況が大きく変わる可能性もあると感じている。令和5～7年の3年間を移行期間として、各クラブでスタートし、ある程度形となるケースが出てきた時点で、とばスポーツクラブを設立する方がよい。そうでないと、進めてみた方がいいが、全然違う方向に進んでしまい、子ども達が大変な思いをすることになりかねない。

**(事務局)**

実は8月29日に、体育協会の理事会を開催し、地域移行に関する話をしました。その際、以下の2点をお願いしました。①令和6年度の総会時(6月頃)に、事務局から部活動に該当する協会に対し、指導人材の調整をお願いしたい。②令和7年度から、とばスポーツクラブという総合型地域スポーツクラブの活動を、鳥羽市体育協会の1事業として実施してもらうことは可能かどうか理事会で協議し、OKであれば令和6年度の総会に諮っていただきたい。このことから、人材については、令和6年度の段階で準備可能かどうかはある程度見えてくると考えています。

**(委員長)**

現状、移行時期が令和8年4月または令和8年度3年生引退時となっているが、意見を聞いていると2択では難しい。今後、目途としては令和8年度ということを持ちながら、移行時期はずらして、学校の部活動と地域の受け皿(とばスポーツクラブ)との調整・摺合せを行わないといけないと思う。

**(事務局)**

はい、調整が必要と思います。

あと、離島について次回のテーマにもなっていますが、人数等を踏まえ、今後の状況について話し合う必要があると考えています。そのベースとして、鳥羽東中学校区での状況報告も一緒に協議していかないと進んでいかないと考えています。

**(委員長)**

神島は現在卓球部があるが、土・日の地域移行の可能性のあるかが課題である。答志は剣道が地域移行の一手手前まで進んでいる状況になっている。あとは野球とバドミントンをどうしていくかが課題である。野球はまだチームが組めるので、すぐに地域移行ということにはならないが、バドミントンは、鳥羽東と一緒にやっていく可能性の方が高いと思っている。

**(委員)**

野球もこれから人口が減ってきて、チームが組めなくなった場合、普段は答志、土日は合同で行うことを検討していかなければならない。バドミントンは、答志になかなか指導者がいないので、今後厳しいと思う。ソフトボールも3年生が引退し、人数が不足して、土日に他のチームと練習している。地域移行の枠に入った時、(練習時間が)土日の半日だけとか制限が入ると、あまり練習ができないので厳しい。あくまでもクラブチームとしていくのか、地域移行の枠に入るのが不安である。

**(委員長)**

地域クラブ活動へ大きな舵を切る時期については、令和8年度を目途とするが、早く移行できる所、そう

でない所もある。学校・指導者・スポーツクラブの3者で調整を行い、スケジュール感を持っていくこととしたい。

(3) 調整主体・実施主体について (計画 P23~26)

(委員)

例えばソフトボールをクラブチームで行った際、「総合型地域スポーツクラブからのクラブ」として学校へ派遣して指導してもらう場合、競技によって二重登録はあるのか？

(委員)

今年度までは1人1種目という規定があったが、来年度からはその規程が取り払われる。

(委員)

例えば野球の場合、硬式の野球チームに入っているが、軟式の部活動に登録できるようになるということか？

(委員)

おそらく中体連は「どこに登録していてもいい」という話が出てきていた。

(委員)

そうなると、クラブを作りやすくなる。

(委員)

日程が重複するのが考えられる。

(委員)

子ども達からすると色々選べるのでメリットである。

(委員長)

将来的には小学校の子たちとも連携していく必要がある。

(事務局)

中学校まで見られる人を揃えて、増強していくというのが現実的と考えます。

(委員)

例えば1つの競技でクラブチームが2つ・3つ出てくる可能性もあるということか？

(事務局)

実際サッカーはそうなっています。

(委員長)

今日は色々な課題が出たが、次の機会に議論していきたい。

(事務局)

先ほど申し上げたとおり、体育協会理事会で、来年の総会時、指導人材探しをお願いしたいと伝える予定ですので、調整主体はその形で進める予定です。実施主体は外から連れてくるのは困難であると考えていますので、地域の方でお願いしたいと考えています。

(4) 運営主体 (とばスポーツクラブ) の担う役割等の整理について (計画 P9、P23 ~26、P35) は次回実施。

次回 (第5回) 開催日: 令和5年9月25日 (月) 18:30~19:30